

と き 2020. 10. 14 (水) 晴・まあまあ涼しい

ところ 81番・宝蔵院9:00-82番・慈眼寺10:45-83番・東福寺11:25-堂ヶ島11:55~12:45-東福寺12:57-84番・法眼寺13:26-沢田公園14:18-田子地先15:27-三島

参加=17名、歩数=3万歩、距離=18km

## 快適な巡礼、地元の人情に触れる

バスで前月最終の81番・宝蔵院に向かう。宝蔵院は、標高約550mの高所にある。寺は大きく立派。道路もない昔、よくこんな寺を作ったものだ。お金も時間も費やした。昔、松崎は航路で潤った。篤志家がいたのだろうか。



宝蔵院・O夫妻

境内に苔むした石仏が多数ある。石仏は、古人が麓から背負いあげたもの。軽くても30kgくらい。様々な願いを込めて上げたのだろう。現在は、そのような風習はなくなった。でも、巡礼は未だに続く。



林道の寺分岐で前回道を間違え、寺に未達だったO夫妻、サポのKが先に下車し寺に向かった。我々は寺の駐車場にバスで上がり巡礼開始。Oらと途中で会った。速い。

寺から一色集落まで標高差約500mを下る。適度な勾配の車道で歩き易いは歩き易い。途中、伊豆ジオパーク発祥の「枕状溶岩」があった。この地層は、伊豆で一番古いといわれる。

<http://shinshima.com/blog/post-6731/>



枕状溶岩

一色の82番・慈眼着。寺は無住職なので外でお勤めが多い。ところが寺入り口に来たら、地元のオジサンに「寺に行くの??」と声を掛けられた。地区の区長さんで寺管理もしていて、「鍵を開けます」といつてくれた。

ブラブラ寺に向かうと、畑仕事とオバさんが、イモを掘っていて安納芋をひとつづつプレゼントしてくれた。ああ、こんな田舎の風景はイイですね。寺では、久しぶりに本堂でお勤めを行った。寺は地区の集会場も兼ねていた。終了後、83番・東福寺に向かう。

今日は、気温が17.5度だった。仁科川に沿って83番・東福寺に向かう。川では釣り人が何人かいた。中には浅瀬に座って釣っている人もいた。





仁科川・一色



畑仕事のババさま

道路に上がっている方に聞いたら、釣っているのは「鮎」で、友釣りは釣れない、エサがイイといった。エサは、「アミエビ」がイイという。25cmくらいのものが釣れるといった。これは凄い。

寺に着いた。山門の上に梵鐘がある。珍しい作りだ。寺はキレイ。境内にこれまた珍しく、弘法大師の像が立っている。寺の姿勢が、うかがい知れた。本堂で



お勤め。天井に「五百羅漢」の「コテ絵」（地が漆喰で出来ている）がある。檀家で東京の篤志家が寄贈したという。なかなか見事なものだ。若い嫁さんが、いろいろ丁寧に対応してくれた。

これまた最近では珍しい。どこの寺も、案外、素っ気ない。中には、迷惑っぽい寺もある。有り難いことである。ただ、ここの大バアさまは、厳しくて以前、到着が遅れたら小言をいわれてしまった。

終了後、昼食時間で、堂ヶ島にバスで移動し昼食にした。堂ヶ島は空いていた。海女のババさまもヒマそう。トンビに注意の看板あり。



仁科川



東福寺

弘法大師像

84番・法眼寺着。寺の住職は、元サラリーマン。訳アリ??のバツイチ。前住職が亡くなって赴任した。初めて会ったころは細身だったが、現在は100kgあるか。強面だがイイ方で話は弾む。一緒に記念撮影をお願いした。

終了後、仁科港の魚介土産屋で買い物を済ませ、沢田公園に寄った。その後、田子地先まで歩き終了した。それ程、暑くはなかったが、今回は何故か、やや疲れた巡礼でした。お疲れ様でした。合掌。





八十四番・法眼寺



沢田公園